

## 財団法人茨城県消防協会

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

代表者名	会長 大塚 光 (非常勤)	所管部(局)課	生活環境部 消防防災課	
所在地	水戸市千波町1918番地	電話番号	029-244-6561	
ホームページURL		E-mailアドレス		
資本金(基本財産)	317,930 千円	設立年月日	昭和22年12月31日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県	116,400 千円	36.6 %
	2	市町村	30,000 千円	9.4 %
	3	消防団員等	35,602 千円	11.2 %
	4	企業団体等	135,928 千円	42.8 %
	5		千円	0.0 %
	その他	団体	千円	0.0 %
設 立 目 的	当協会は、消防団員・職員の福利厚生、消防施設の改善、消防活動の強化等を図るとともに、消防思想を普及徹底し、もって社会の災厄を防止し、人類共同の福祉増進に寄与することを目的として設立されたものである。会員は、住民の生命、身体及び財産を火災から保護するという重要な使命を担っている消防団員・職員である。本会は、国、県及び市町村と連携・協力し、会員の福祉厚生、弔慰救済及び表彰等の事業のほか、消防防災思想の啓発普及、消防防災に関する調査・指導・講習、消防防災諸団体の育成及び消防防災施設の整備に関する事業を行っている公益法人である。			

[事業の概要]

事業名	平成17年度事業費	内 容
事業1 消防団活性化事業	6,940 千円	消防団は、地域における消防防災の中核をなすものであり、消防団の充実強化を図ることは、地域の連帯意識を高め一貫した防災対策を推進するうえで、必要不可欠である。このため、漸減傾向にある消防団員の確保対策として、地域交流活動促進事業への助成等を充実させ、より一層の消防団活性化を推進する。
事業2 啓発普及事業	3,181 千円	地域に根差し、郷土愛護の精神をモットーとする消防団員・職員の益々の士気高揚を図るため、機関紙「茨城消防」の内容をより一層充実したものにするほか、全国火災予防運動に呼応し、防火ステッカーや防火ポスターを配布するなど、火災予防思想の普及高揚を推進する。
事業3 各種大会実施事業	10,104 千円	茨城県との共催で消防大会や消防ポンプ操法大会等を開催し、消防団員、職員、同妻女等の定例表彰を実施するとともに、操法技術の向上と士気高揚を図る。

[組織]

年度	7月1日現在の人数	平成15年		平成16年		平成17年	
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB
役員	常勤理事	1	1	1	1	1	1
	非常勤理事	59		57		56	
	常勤監事						
	非常勤監事	3		3		3	
	計	63	0	61	0	60	0
職員	管理職						
	一般職	1	1	1	1	1	1
	臨時職員	1		1		1	
	嘱託職員						
	計	2	1	2	1	2	1
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数
		1	1	1	3	48歳 5月	6年 3月

[収支の状況]

財団法人茨城県消防協会

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
収 支 の 状 況	収入合計	65,165	108,352	163,849
	事業収入	12,859	52,062	112,879
	事業外収入	52,306	56,290	50,970
	支出合計	63,293	109,084	163,148
	事業支出	35,804	79,087	137,564
	事業外支出	27,489	29,997	25,584
	うち管理費	27,489	24,496	25,584
	うち人件費	19,322	17,840	18,311
	当期収支差額	1,872	-732	701
	正味財産増加額	260	6,480	704
	正味財産減少額	349	402	2,617
	当期正味財産増減額	1,783	5,346	-1,212
	前期繰越正味財産	329,244	331,027	336,373
期末正味財産	331,027	336,373	335,161	
財 産 の 状 況	資産	332,487	340,287	339,059
	流動資産	9,988	11,606	12,187
	固定資産	322,499	328,681	326,872
	負債	1,460	3,914	3,898
	流動負債	0	2,350	2,230
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	1,460	1,564	1,668
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	331,027	336,373	335,161	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
財 的 関 与 状 況	補助金	26,236	24,335	24,681
	委託金	1,674	41,840	102,100
	貸付金	0	0	0
	計	27,910	66,175	126,781
	財政的関与の割合(%)	43%	61%	77%
	損失補償・債務保証			

[平成16年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	財団法人茨城県消防協会運営費補助金 知事は、消防力の充実強化を図るため、財団法人茨城県消防協会に対し、人件費及び事業費について、予算の範囲内において補助金を交付する。
委託金	消防大会、消防ポンプ操法大会及び退職消防団員報償委託 県との共催により、茨城県消防大会を開催し、消防団員・職員の士気高揚に寄与している。
貸付金	該当なし

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	5	8	62.5%
目的適合性	4	5	10	50.0%
組織運営の適正性	4	4	8	50.0%
健全性	11	14	40	35.0%
効率性	6	10	20	50.0%
合計	29	38	86	44.2%

公益法人会計用

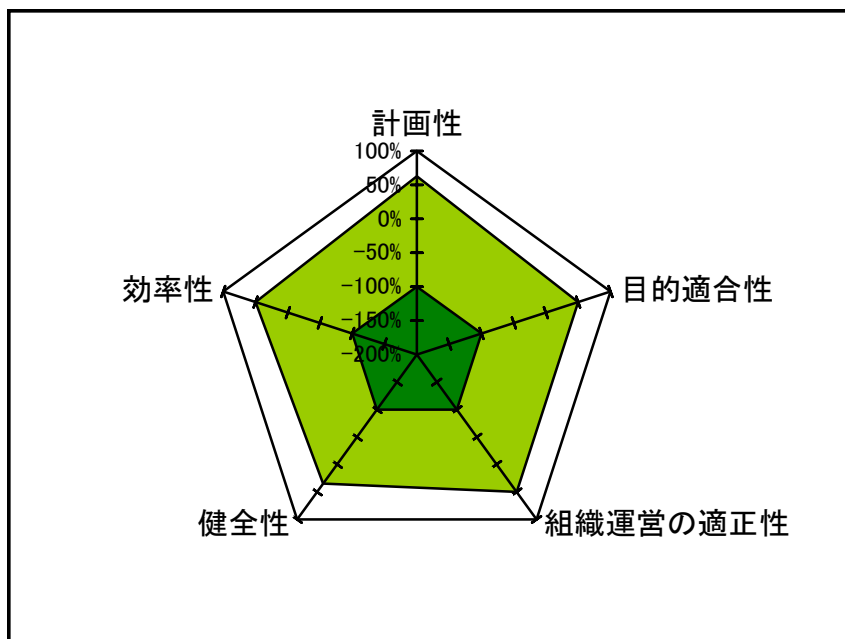
財団法人茨城県消防協会

警戒指標

--

《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか



各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
市町村負担金の削減や運用益の減少等厳しい財政状況にある一方、近年の消防団員数の減少に応じた消防団員確保のための活性化事業等を充実させる必要がある。このため、事務事業や年次計画等の見直しに努める必要がある。	消防大会等の各種大会事業や殉職者慰霊祭等の福祉厚生事業、機関紙の発行等による消防思想の啓発事業等の継続的事業のほか、消防団員確保対策としての「地域交流活動促進事業」等のさらなる充実を図る必要がある。	事務局に常勤職員が2名いるが、各種大会や啓発普及事業のほか、消防団員確保対策として「地域交流活動促進事業」等を実施しており、今後も事業内容の充実が求められているので、職員の増員が必要である。	市町村負担金の削減や運用益の減少が見込まれる等、厳しい財政状況の中、消防団活性化事業を充実させるほか、女性消防団結成促進事業等も検討する等、財源の有効活用に努めている。	より効率的な事務処理等により管理費の圧縮に努める等、事務事業の見直しを積極的に進めていく必要がある。
今後の事業展開の方向	近年の消防団員数の減少に応じた消防団員確保のための活性化事業等を充実させ、より一層の消防力強化を図る。			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
中長期計画に基づき、効率的かつ効果的な事業実施を図っていく必要がある。	消防団員確保のための活性化事業をより効率的に実施し、更なる事業効果を高める必要がある。	消防団員確保のための活性化事業等、事業活動を充実させるため、効率的な事務の執行に努める必要がある。	平成18年度から基本財産運用収入の大幅な減が見込まれるので、長期的な健全性を確保するため、収支両面から見直しを図る必要がある。	効率的な事務処理による管理費の圧縮と事務事業の見直しを積極的に進める必要がある。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	推進事項			
法人担当課の意見	① 中長期計画に基づき効率的かつ効果的な事業実施及び組織運営を図る必要がある。 ② 平成18年度から基本財産運用収入の大幅な減が見込まれるので、長期的な健全性を確保するために管理費の圧縮と事務事業の見直しを積極的に進める必要がある。			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>近年、団員数の減少など消防力の低下が懸念される中、消防団員等に対する福利厚生事業や消防団活性化事業等の必要性は認められるが、基本財産運用収入の減少が見込まれる等、厳しい団体運営を強いられている。                  事業推進にあたっては、事業の再評価や経費の削減、更には事業毎に明確な目標を立てる等、より効果的な取り組みを行うとともに、事務局の充実など組織の自立性を高め、県・市町村等との役割分担を見直す必要がある。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>基本財産運用収入の減少による厳しい財政運営は避けられないため、事業の見直しや経費の削減を求めるとともに、効率的、効果的な事業の執行を指導していく。また、組織の自立性を高めるため、役割分担の見直し等を検討していく。</p>

< 財団法人茨城県消防協会 から県民のみなさまへ >

「事業の見直しや経費の削減を行い、より一層の消防力の強化に努めて参ります。」  
 平成18年2月 会長 大塚 光